

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は管理者・スタッフで作ったもので、地域密着を根ざしたサービス提供をする内容が盛り込まれている。毎日利用者と一緒に唱和し理念を元にしたケアを実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	苑の行事に地域住民や保育園小学校の協力を頂いたりして交流を図っている。地域の方が野菜を届けて下さったり小学校よりお餅を頂いたり苑で収穫した野菜等を届けたり日常的に交流している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方との交流の中で苑での支援策を話したり、グループホームの役割等について説明し認知症を理解して頂けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には家族や民生委員・自治会・老人会・行政等の参加がある。事業所の現状と評価への取り組みを報告し出席者の意見交換や助言等が出されており、その意見を運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営会議や行事への参加を要請したり苑の状況報告、質問や相談・助言を頂き情報の共有化を図りサービスの課題解決や質の向上に取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束による弊害をスタッフ全員が理解し玄関にはセンサーを設置。日中は鍵をかけず利用者の身体状況を把握し言動を抑制せず安全面・精神面に配慮し支援して自由な暮らしができる様にしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待による弊害をスタッフ全員が理解している。日常、何気なく使っている言動の中に虐待がないか、お互いに注意するように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業・成年後見制度について学習・理解をし必要時活用し支援できる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時は十分な説明を行っている。特に費用に関すること支援体制、考えられるリスクや利用者の状態変化により契約解除に至る場合等を含め納得理解して頂いた上で契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に相談窓口を明記し入居時に説明している。日頃より利用者・家族が意見要望が出しやすい雰囲気作りを心がけている。出された意見は検討し全スタッフが共有・認識し結果を利用者・家族・運営会議にて報告し運営に反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を開催し、自由に意見や要望を出し、話し合いを行い、サービス向上を運営に反映している。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けた支援を行い研修会への参加を呼びかけ、各自が向上心をもって働けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者はスタッフ一人ひとりのケアの実際と力量を把握している。スタッフの力量に合わせ研修参加や資格取得に働きかけている。職員会議等で勉強会を行い外部研修にも時間の確保をし参加の働きかけをしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の地域密着型事業所連絡会の中で学習に参加したり、近隣のグループホームとの交流があり、相談や情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>時前に必ず家族・本人に面談し身体状態・生活歴・心配事や思い希望を聞き安心して生活出来るように努めている。又可能な限り入居前に見学に来て頂き安心・納得して入居して頂けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>時前に家族と面談し、不安や困っていること又、要望を聞き思いや意見をしっかり受け止め信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族が困っている事、望んでいる事は何かしっかり聞き出来る事はすばやく対応・苑にて出来ない事に関しては他のサービス等を紹介し援助が受けられるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>スタッフは一緒に生活する家族と位置づけ、些細な事にも耳を傾け互いに安らげる関係を築いている。又人生の先輩として尊敬し教わる事も大事にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日常生活の様子や変化等を家族に伝え、またお互いの情報を共有化し家族と同じ思いで接している事を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・友人・知人の面会。面会者との関係を把握する事によって利用者の理解・生活歴を知る。馴染みの病院受診や店での買い物を支援している。お墓参りや利用者の希望も取入れる。地域への行事の参加も支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者のそれぞれの性格や状態を十分把握し利用者間での居宅訪問ソファでの談笑時にスタッフも中に入り世間話が広がるように支援している。関係作りの出来る人、出来ない人の役割を理解し互いに支え合えるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や施設に移られた方の家族に状況を聞いて見舞いや面会に出かけている。相談があった場合には対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の話をゆっくり良く聞き言動からくる思いや希望を受け止め、時には家族を交えて検討し本人の意向に添った暮らしの支援に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族・本人にこれまでの生活歴を聞き入居後も家族や知人の面会時に情報を収集し、出来る限り馴染みの暮らしが出来るよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の心身・身体状態を把握し希望を聞き無理のない一日が過ごせるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の思いや希望、主治医の意見・スタッフの気付きアイデアを反映させるようにしている。毎月のカンファレンスの意見を基にケアプランを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に食事量・水分摂取量・排泄バイタル・入浴・日中、夜間帯の様子を記録し情報の共有、日々の変化を評価しながら介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者一人ひとりのその時の状況や希望に応じて予定外の受診や、買い物・見舞い等、本人や家族の要望にも応じている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して暮らせるように民生委員・老人クラブの方々に苑の行事に参加して頂き意見交換できる機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけの主治医の下で身体状態に合わせた受診が出来る様に支援している。又家族が都合が悪い時にはスタッフが同行し状態を報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の主治医や苑の協力医・薬局に緊急時、必要時に応じて相談し対応していただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>家族を支えて担当医と話し合い苑での対応可能な段階でなるべく早期退院出来るように取り組んでいる。又入院時には苑での状態を病院側へ情報提供すると共にスタッフも見舞いに行き状態あを見守っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化を常に家族に報告・相談しながら家族の意向を確認し家族・主治医と連携を取りながら苑で出来る事、出来ないことをしっかり話し合い出来ない事は医療機関にお願いをしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成しスタッフ全員に配布している。心肺蘇生や異物除去の訓練を勉強会にて実施している。又、毎食前に嚥下運動を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や火災報知等設備会社の協力を経て通報訓練・避難訓練・消化訓練を日勤帯・夜間帯を想定して実施し近隣住民にも参加をお願いし協力を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し尊厳やプライバシーを傷つけるような声かけをしない様に、特に排泄の失敗時の声かけには十分気をつけて対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	起床時や食事、その日の着る服昼寝や就寝時、日常生活の中で本人の希望を聞きながら納得のいくよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れをその方の体調・希望・思いを大切に、その方のペースに合わせて見守り、声かけし柔軟な支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日に着る洋服を自分で選んだり選べない人には一緒に選んで行事や外出時には薄化粧をしたりして特に自分らしいおしゃれが出来る様支援している。又本人の希望に合わせてスタッフにて散髪の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を決めたり下ごしらえや味見、食後のテーブル拭き等をしてもらっている。食事はスタッフも一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量を毎食チェックし記録している。個々の状態に合わせ量や形態に配慮している。メニューは記録をし重ならないようにバランスの良い食事を支援しており、水分量もチェックし脱水・便秘にならないように配慮し水分制限のある方は量を把握している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>スタッフは口腔ケアの大切さを良く理解しており個々の状態に応じた口腔ケアを毎食後支援している。義歯の方は夜ははずしていただき毎週一回確実に薬剤による義歯洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげない声かけを行いトイレでの排泄を基本として自分で出来る事は少しでもして頂けるような支援を心がけている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給に努め食事の中で食物繊維や乳製品が摂取出来るように取り組んでいる。又リハビリや歩行により自然排便が出来るように取り組む困難な方には主治医と相談し投薬にて様子観察し対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日・順番・湯加減等、本人の希望や体調を考慮しており脱衣所にはカーテンをつけて、プライバシーの保護に努め一人ひとりに合わせた支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩・リハビリ・体操・レクリエーション・掃除等、その方に合わせた日中活動を促し安眠できるように支援している。日中もその方の状態に気を付け休憩の声かけをしている。又夜間不眠の方には主治医に相談し薬剤を含めた安眠策をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの処方箋はケース記録にファイルし、いつでも薬の内容・副作用が把握出来るようにしている。服薬時には確実に出来る様に食後に手渡し確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食材の下ごしらえや掃除・後片付けなどできる事をして頂き感謝の言葉を伝え役割を持つ喜びを支援している。利用者とは相談しながら花見や外食に出かけたり季節の行事を楽しめるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調を考慮しながら散歩したり、季節毎の花見やドライブに出かけたり買い物に出かけている。又本人の希望に添ってご家族等の協力をいただきながら自宅や見舞いに出かけられるように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や能力に応じて、お金を自分で管理し外出時買い物をされたり又お金を苑で預かっている方でも希望に添って買い物支援をし、支払いを自分でしていただいている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望で電話をかけたり取り次いだり支援している。又年賀状・暑中見舞いに一言直筆にて書いていただく支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの音量・照明・室内の温度は、その場に居る方に合わせて調整している。トイレの臭い等も消臭スプレー等を使用し不快を感じさせないように配慮している。台所から聞こえてくる調理の音・匂い又食堂より見える季節の草花をみて生活感・五感への働きかけを工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関・内・外・食堂に椅子やソファを置き、気の合った利用者同士で外気浴や話しを楽しんだり、いつでも居室に帰ることができ一人の時間等を自由に過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、出来るだけ使い慣れた家具・雑貨・日用品を持ち込んで頂き、その方の好みや使い易さに合わせた居室作りをし、居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの身体機能にあったベット柵やあらゆるところに手すりを取り付け、できるだけ安全で自立した生活が送れるようにしている。トイレ・居室など表札などをつけ自立した生活を送れるよう支援している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない